

学生アンケート等に基づく改善事例(2025年度まで)

～みなさまからいただいた意見はこのような改善につながっています～

調査回答は、個人情報特定されないよう統計的に分析処理した上で、さまざまな改善につながるよう、自由記述も含めて学内会議で学長・副学長・学部長等に報告しています。



▶▶ 改善への取り組み事例

調査結果等をもとに、具体的な改善へ取り組んでいます

●TG-folioの改善

- 「**ディプロマ・サプリメント**」(学位証書補足資料)の発行時期見直し
就職活動で活用できるよう、「**3年進級以降**」から発行可能に変更
(「教学に関する懇話会」における学生代表からの意見を反映)
- 学内のピアサポート活動や、数理・データサイエンス・AI教育プログラム修了者等へ
「**ポジティブバッジ**」の導入→2026年度からは**オープンバッジ**(一部予定)



●授業改善

- 「**授業評価アンケート**」結果の教員へのフィードバック、優れた教員の表彰、評価の低い教員への改善指示
(「授業改善のための学生アンケート」結果の活用)

●カリキュラム編制への意見反映

- 学部を超えて学ぶ「**課題探究**」科目の設定
(「教学に関する懇話会」における学生代表からの意見を反映)



●食堂の混雑に対する対応

- 学食に**食事専用席**の設定(試験実施)
(「学修行動と学生生活実態調査」の意見、学生課「昼食に関する満足度アンケート」をふまえ検討)

●五橋シュネーダー記念館のエレベーター運用見直し(試験実施)

- 混雑対応のためエレベーターの停止階設定を調整
(「学修行動と学生生活実態調査」の意見、合同協議会での改善提案を踏まえ検討)



●学生アンケート結果公表方法の工夫

- 大学ホームページ掲載に加えて、学生向け報告書をMYTGで配信
(「学修行動と学生生活実態調査」の意見を踏まえ検討)



※具体的改善の一例です

皆さまからの調査回答は個人情報特定されないよう統計的に処理し分析報告され
東北学院大学における教育研究活動の改善に役立てられています。

◆◆ 今後も学生調査にご協力をお願いします ◆◆